



連携・協働科目試行実践

「多機関連携と学校防災」の試行授業を行いました。

開催日時：2024年6月24日(木) 14:50-16:20

場所：兵庫教育大学 加東キャンパス 共通講義棟 108 室

学生：「教育制度論*」受講生 *「校外機関との連携」に関する講座内容として実施

担当教員：川上泰彦教授、神内聡教授、濱野清教授、三浦智子准教授、西盛康子准教授

連携協働科目開発チームでは、現在1回生を対象に実施中の「子どもの安全と学校組織」と併行して、2年後の2026年度開講科目である「教師の連携・協働と学校経営」や「多機関連携と学校防災」について試行授業を行っています。今回は、そのうちの「多機関連携と学校防災」の取組について報告します。

当該科目に関しては、本年1月22日にも、連携機関である「南あわじ市教育委員会」の協力を得て、浅井伸行教育長からのご講演を頂戴しました。「南あわじ市が目指す防災教育」という演題の下、市の教育委員会が管下の学校防災教育を支える使命について、熱く語っていただき、当日は文部科学省の木下史子安全教育調査官の視察もいただいたところです。

ただ、この時の試行は、「学校における防災教育と心のケア」という大学院生対象の授業であったことから、今回は2年後にこの授業を受講する学部3回生を想定して、現在の3回生受講講座である「教育制度論」の授業において試行することとしました。

試行授業としては、まずは昨今頻発する自然災害の実態に加え、今次の学習指導要領改訂で、「現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容」として充実が図られた防災教育の位置付けを確認するところから始めました。その後、兵庫県内で実際に学校防災を支える機関として、先の南あわじ市とともに兵庫県広域防災センターなどを取り上げ、それらの学校支援の実態について確認しました。その上で、「自分たち自身が学校現場に立って防災教育を実践するに当たって、どのような機関とどの様な連携が考えられるか」を主題に協議を行い、併せてアンケートとしても回収したところです。

今後はそのアンケート結果を分析し、授業計画に反映させる予定です。

⇒ 1月22日の
授業の様子
(浅井教育長)



⇒ 6月24日の
授業の様子